




## 「学校評価」のまとめ

### <平成30年度「学校評価」アンケート集計結果と考察①>

本校は、「学校経営・運営ビジョン」の内容とリンクする形で評価項目を起こした学校評価を行っています。前期(7月実施)と後期(12月実施)の「学校評価」の結果を比較・検討し、考察を加え、本年度の「学校評価」についてまとめた内容をお知らせします。

 「目指す学校像」についての評価結果

\* 4段階評価

目指す学校像	生徒主体の活動	勤労・奉仕の精神	教育環境	愛校心	小・中連携	地域社会との連携
生徒	3.31	3.45	3.34	3.49	2.96	3.13
	3.35	3.58	3.14	3.50	2.65	3.31
保護者	3.06	3.14	3.00	3.05	3.27	3.05
	3.04	3.22	2.95	3.04	3.11	2.99
教師	3.00	3.00	3.31	3.46	2.69	2.85
	3.29	3.42	3.47	3.43	3.21	3.27

全体として、生徒と教師の評価は、項目の多くが後期の評価が前期を上回っている一方で、保護者については全体として大きな変化が見られませんでした。

項目ごとに考察を加えます。

#### <生徒主体の活動>

○ 本年度は、生徒の主体性をはぐくむことを主眼とした学校経営に努めてきました。生徒の評価を見ると、主体性に対する自覚が表れていると受け止めることができます。また、教師も生徒の主体性を培うための指導に努めてきたことが見て取れます。とてもよい傾向ととらえることができ、学校経営の所期の目標に迫ることができたと思っています。今後も生徒の主体性をより伸ばし、授業においても積極的な姿勢がこれまで以上に見られるように努めていきたいと思ひます。

#### <勤労・奉仕の精神>

○ 本校の特色ある教育活動の一つである「ボランティア活動」が<勤労・奉仕の精神>を培う上で奏功していることが見て取れます。更なる充実を期していきたいと思ひます。

#### <教育環境>

○ 学校生活における“落ち着きと潤い”と“安心と安全”についての質問項目で、学校生活の根幹にかかわる部分です。教師の意識が高い一方で、生徒の評価が伸び悩みました。生徒の笑顔が溢れる学校づくりに邁進していかなければなりません。

#### <愛校心>

○ 生徒の愛校心はとても高いことがうかがえます。校歌を歌う姿勢、清掃活動に取り組む姿勢などに顕著に表れています。更に高めたいと思ひます。

#### <小・中連携>

○ 生徒や保護者にはなかなか実感としてとらえることが難しい項目ですが、松二中学区としては小・中連携事業に熱心に取り組んでいます。今年度の反省を踏まえ、次年度の活動の活性化に結びつけたいと考えています。また、連携の姿をきちんとお知らせできるようにも努めていきたいと思ひます。

#### <地域社会との連携>

○ 学校と地域との結びつきにおいては、生徒も教師も高い評価をしています。教育活動の効果をより上げるために、地域人材や地域資源をもっと活用していくことを念頭に置いて教育活動を展開していきたいと思ひます。



小・中連携出前授業「英語」(石井小にて)



小・中連携出前授業「数学」(大平小にて)



## 「学校評価」のまとめ

### <平成30年度「学校評価」アンケート集計結果と考察②>

「知育」についての評価結果

知 育	分かる授業	ICTの活用	個に応じた指導	家庭学習	読書活動	*4段階評価
						キャリア教育
生 徒	3.34	3.21	3.26	3.33	3.31	3.04
	3.25	3.30	3.15	3.33	3.28	3.35
保 護 者	2.84	2.52	2.50	2.84	2.47	2.56
	2.68	2.52	2.53	2.80	2.47	2.77
教 師	2.69	2.85	2.91	3.00	3.08	3.08
	2.79	2.86	3.00	3.53	3.53	3.21

教師の評価が、すべてにおいて後期が前期を上回っている一方で、生徒と保護者については今ひとつ伸びがありませんでした。

項目ごとに考察を加えます。

#### <分かる授業・ICTの活用・個に応じた指導>

○ 若干低くなったものの、生徒の評価は高く推移しています。授業内容が分かるということほど大切なことはありません。「ICTの活用」が奏功していることもうかがえ、私たちは、これまで以上に「分かる授業」の展開に努めなければなりません。

#### <家庭学習>

○ やはり、生徒と保護者の間にズレがあります。保護者は家庭学習が不十分と考え、生徒はやっていると自認していて、教師もそれを認めていることが分かります。「松二中学区スタンダード」に記された目標時間の達成と学習の中身の充実に向け、これまで以上に家庭と連携を深めていく必要があります。

#### <読書活動>

○ 「松二中学区スタンダード」には目標とする冊数が発達段階に応じて記されていて、中学生は月に2冊となっています。学校では位置付けられた時間の他、主体的に本を読んでいる生徒もおり、また、図書委員会では「朗読会」を開催するなどして読書の啓蒙に努めています。生徒は、学校での読書習慣が付いていても、帰宅してからはテレビやゲームなどの優先度が高く、その姿を見ている保護者にとっては上のような評価になるのかもしれませんが。読書は“豊かな心”をはぐくむ上で大切であることは言うまでもないことであり、その拡充を図っていかねばなりません。

#### <キャリア教育>

○ 生徒、保護者、教師、すべてが前回は上回る結果となりました。生徒の伸びが著しいのは、職場体験や福祉体験など、実体験の活動が生徒の心に響いたものと考えられます。こちらに関しても、より一層の充実を期していきたいと考えます。

## 男子ソフトテニス部、東北大会第3位

## 男子バスケットボール部、東北大会第6位

## 女子卓球部、県大会ベスト8

## 男子バスケットボール部、県北大会優勝



1月に入ってから、上記大会が開催され、本校の出場チームは輝かしい結果を出しました。

冬場とは言え、大会が目白押しです。ただ、その大会への出場資格を有していなければ、結果も何も無いわけで、昨年後半の新人大会からつながってこのような大会に出場し、素晴らしい結果を出しています。

保護者の皆さんの絶大なご協力と同窓会からのご支援が生徒の活動を支え、このような好結果に結びついています。改めて深く感謝を申し上げます。